

2024年第50週(12月9日~12月15日)

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
感染症発生動向調査

名古屋市感染症発生動向調査情報

名古屋市感染症情報センター(名古屋市衛生研究所疫学情報部)

2024年(令和6年)12月18日作成

<https://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-0-0-0-0-0-0.html>

◆本市の状況

〔定点把握感染症の発生動向〕

- インフルエンザの定点当たりの患者報告数は19.77で、前週比2.3倍に増加しました。

〔1類~5類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症の分類	疾病名	発生数	発生の概要
2024年第50週	2類	結核	2	男性、75歳、結核性胸膜炎 女性、58歳、無症状病原体保有者
2024年第50週	4類	つつが虫病	1	男性、53歳、感染地域：三重県
2024年第50週	4類	デング熱	1	女性、60歳、感染地域：フィリピン
2024年第50週	4類	レジオネラ症	2	女性、94歳、肺炎型、感染地域：愛知県 女性、76歳、肺炎型、感染地域：愛知県
2024年第50週	5類	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	女性、79歳、菌検出検体：血液、菌種： <i>Klebsiella oxytoca</i> 、感染原因：不明
2024年第50週	5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	女性、45歳
2024年第50週	5類	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	1	男性、35歳、AIDS、感染経路：同性間性的接触、感染地域：国外

2024年 第50週	5類	侵襲性肺炎球菌感染症	4	男性、86歳、菌検出検体：血液 女性、79歳、菌検出検体：血液 男性、1歳、菌検出検体：血液 女性、83歳、菌検出検体：血液
2024年 第50週	5類	梅毒	8	男性、55歳、早期顕症梅毒1期 女性、43歳、早期顕症梅毒2期 女性、47歳、早期顕症梅毒2期 男性、26歳、早期顕症梅毒2期 女性、26歳、早期顕症梅毒2期 男性、45歳、早期顕症梅毒2期 男性、41歳、早期顕症梅毒2期 女性、37歳、無症状病原体保有者
2024年 第50週	5類	百日咳	1	女性、18歳、検査方法：病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった1類から5類全数報告感染症。

診断週	感染症の分類	疾病名	発生数	発生の概要
2024年 第49週	5類	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	女性、39歳、菌検出検体：尿、菌種： <i>Klebsiella aerogenes</i> 、感染原因：不明
2024年 第49週	5類	百日咳	1	男性、9歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：名古屋市

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

〔2024年1類～5類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾病名	累計
1類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2類感染症	急性灰白髄炎	0
2類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	347(99)【1】
2類感染症	ジフテリア	0
2類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロ ナウイルスであるものに限る）	0
2類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロ ナウイルスであるものに限る）	0
2類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
3類感染症	コレラ	0
3類感染症	細菌性赤痢	0
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	50(14)
3類感染症	腸チフス	0
3類感染症	パラチフス	1
4類感染症	A型肝炎	1
4類感染症	E型肝炎	4
4類感染症	エムポックス	1
4類感染症	ジカウイルス感染症	3
4類感染症	チクングニア熱	1
4類感染症	つつが虫病	1
4類感染症	デング熱	4
4類感染症	日本紅斑熱	3
4類感染症	マラリア	1
4類感染症	レジオネラ症	47(2)
5類感染症	アメーバ赤痢	20
5類感染症	ウイルス性肝炎	1
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	61
5類感染症	急性弛緩性麻痺	1
5類感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東 部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を 除く）	14
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	46【3】

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

5 類感染症	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）	53 (35)
5 類感染症	ジアルジア症	1
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	15
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	71 【1】
5 類感染症	水痘（入院例に限る）	9
5 類感染症	梅毒	431 (129)
5 類感染症	播種性クリプトコックス症	1
5 類感染症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1
5 類感染症	百日咳	30
5 類感染症	麻疹	2

累計は 2024 年第 1 週からの診断週による累計、() 内は無症状病原体保有者累計患者数を再掲、[] 内は疑似症累計患者数を再掲、【 】 内は感染症死亡者の死体累計患者数を再掲、〔 〕 内は感染症死亡疑い者の死体累計患者数を再掲、〈 〉 内は後天性免疫不全症候群の「その他」累計患者数を再掲。対象疾病が多いため、4 類及び 5 類感染症は報告のあった疾病のみを掲載。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

〔愛知県麻疹・風しん患者調査事業について〕

平成 20 年 1 月 1 日から、麻疹・風しんは全数把握対象となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻疹・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。

調査結果については下記のリンク先(愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ)
<https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html> をご覧ください。

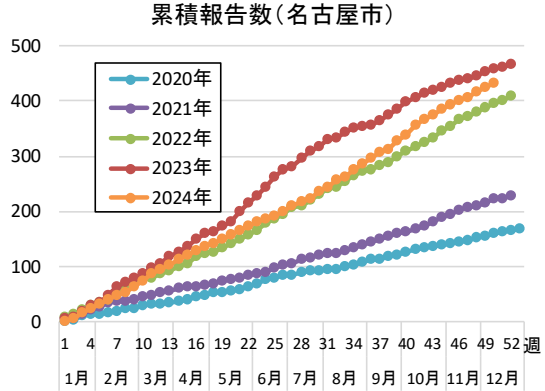
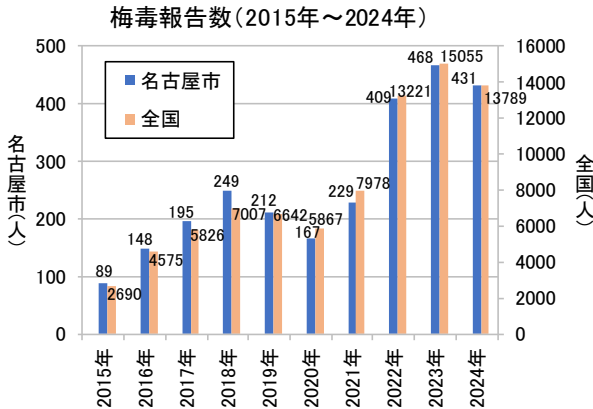
〔定点医療機関からの情報〕

定点医療機関からは検査結果や患者発生状況等がコメント情報として報告されています。定点医療機関から報告されたコメント情報は下記のとおりです。なお、コメント情報のなかった定点医療機関については掲載しておりません。

すべてインフルエンザ A 型でした	定点医療機関（千種区）
インフル A36 名 マイコプラズマ 4 名 小児：胃腸炎多し。 小学校以上：インフル A 多し。	定点医療機関（北区）
インフルエンザはすべて A 型 感染性胃腸炎はノロウイルス感染症	定点医療機関（西区）
インフルエンザ A 型 16 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザは全て A 型です	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型：26 名 抗原定性検査にて判定不明：8 名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザはすべて A 型	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザ A 型（男性：55 名、女性：27 名）	定点医療機関（南区）
インフルエンザ A 型 28 名	定点医療機関（守山区）
インフルエンザは A 型	定点医療機関（緑区）
マイコプラズマ 2 名	定点医療機関（名東区）

〔名古屋市の梅毒患者報告数〕

- 本市における梅毒の2024年の患者報告数は現在431人です。近年、梅毒の患者報告数が全国的に増加しており、本市における2023年（令和5年）の報告数は、過去最多の468人となっています。
- 梅毒は、梅毒トレポネーマという病原体による感染症で、感染経路は感染部位と粘膜や皮膚との直接接触（性的接触）です。
- 梅毒の症状は、時間の経過とともに局所から全身に広がっていきます。症状が一時的に消失しても治療を行わないと病気は進行します。また、感染しても症状が現れない場合や治っても再度感染することがあります。
- 妊婦が梅毒に感染すると、胎盤を通して胎児も感染し、死産や早産、先天梅毒を起こす可能性があります。
- 梅毒の治療には抗生物質が用いられます。

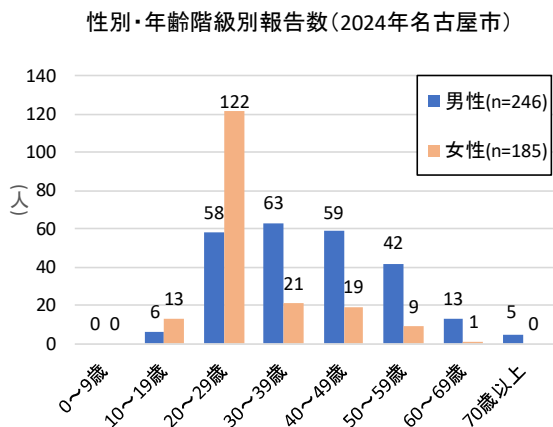
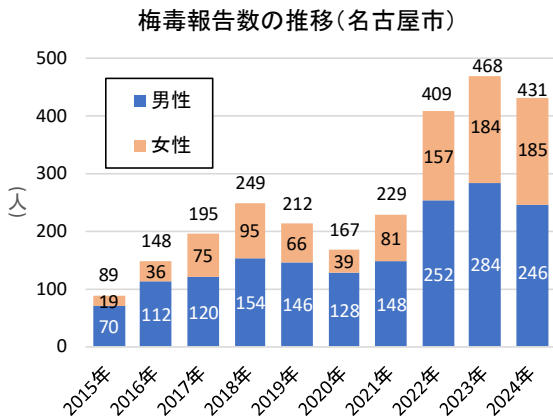


梅毒報告数の推移

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
名古屋市	89	148	195	249	212	167	229	409	468	431※1
全国	2690	4575	5826	7007	6642	5867	7978	13221	15055	13789※2

※1 第50週(12月15日)まで

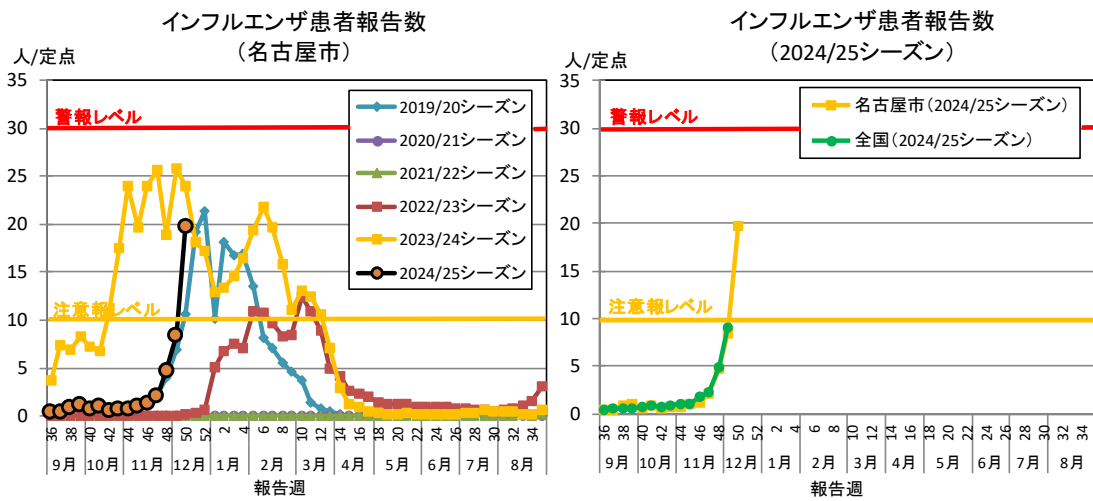
※2 第49週(12月8日)まで



トピックス：インフルエンザ（2024/25シーズン）

- 本市における2024年第50週（12月9日～12月15日）の市内70定点からのインフルエンザ患者報告数は1384人、定点当たり患者報告数は19.77で、前週比2.3倍に増加しました。
- 本市の定点当たり患者報告数（16区平均）は、国立感染症研究所が定める注意報の基準である「10」を上回っています。
- 2024/2025シーズンの集団かぜ（インフルエンザ様疾患）において、名古屋市衛生研究所で実施したPCR検査の結果、インフルエンザウイルスのうちA/H1pdm09ウイルス遺伝子が検出されました。
- インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症です。主な感染経路は、感染した人の咳やくしゃみによる飛沫感染と病原体に汚染された物等を介した接触感染があります。
- 感染後、1日から3日程度の潜伏期間を経て、発熱（38℃以上）、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等が出現し、咳、鼻水等の上気道炎症状が現れます。1週間前後の経過で軽快するのが典型的なインフルエンザの症状であり、いわゆる「かぜ」に比べて全身症状が強いのが特徴です。高齢者や乳幼児などは重症化することがあるので、特に注意が必要です。

〔名古屋市のインフルエンザ患者報告数：2024年12月18日作成〕



定点当たり患者報告数の推移

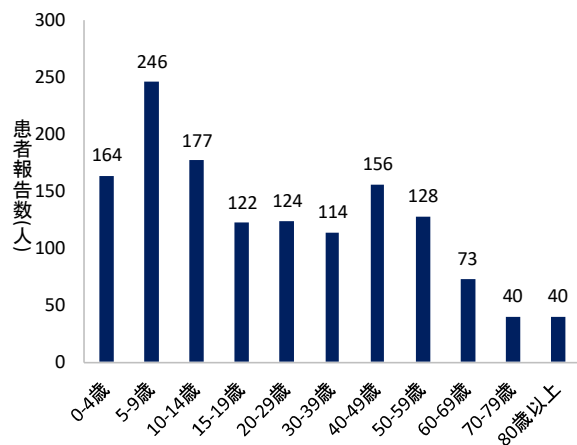
	第43週 (10/21～ 10/27)	第44週 (10/28～ 11/3)	第45週 (11/4～ 11/10)	第46週 (11/11～ 11/17)	第47週 (11/18～ 11/24)	第48週 (11/25～ 12/1)	第49週 (12/2～ 12/8)	第50週 (12/9～ 12/15)
名古屋市 (2024/25)	0.70 [49]	0.70 [49]	1.06 [74]	1.27 [89]	2.07 [145]	4.76 [333]	8.43 [590]	19.77 [1384]
愛知県	0.85	0.88	0.95	1.49	2.06	4.66	10.25	-
全国	0.87	1.04	1.06	1.88	2.36	4.86	9.03	-
名古屋市 (昨シーズン)	17.53	23.93	19.74	23.99	25.66	18.97	25.81	23.91

※「1」を超えると流行入り、「10」を超えると注意報、「30」を超えると警報の基準

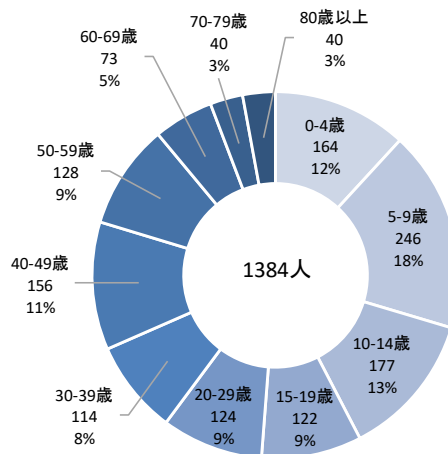
※患者報告数は各週公表時における速報値

※[]内は名古屋市内70定点からの患者報告数

定点からのインフルエンザの
年齢階級別患者報告数(2024年第50週)



年齢階級別患者報告数(2024年第50週)の割合



〔インフルエンザ関連リンク〕

- ・インフルエンザ情報（名古屋市）
<https://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-9-0-0-0-0-0.html>
- ・インフルエンザ（総合ページ）（厚生労働省）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleenza/index.html
- ・インフルエンザウイルス分離・検出状況（国立感染症研究所）
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html>



◆2024年第50週 患者報告数（疾病区別）、定点当たり患者報告数（疾病区別）、年齢階級別患者報告数（疾病別）

患者報告数(名古屋市)

2024年第50週(2024年12月9日～12月15日)

疾病名/区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比※
★インフルエンザ	72	38	88	100	74	83	83	36	40	146	76	131	164	79	133	41	1384	2.3	2.5
★新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	15	10	11	20	29	15	21	14	8	21	28	65	15	49	7	18	346	1.6	0.9
○RSウイルス感染症	1			5		1				1		4		1			13	2.2	19.5
○咽頭結膜熱	1		1	6		2						1			9		20	1.0	0.3
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8		1	14		7	1			6	2	5	4	4	6	1	59	0.8	0.7
○感染性胃腸炎	26	3	8	79	9	20	14		1	13	13	8	22	42	13	6	277	1.0	1.1
○水痘	2			2						1	1			3		1	7	2.4	3.6
○手足口病				1		1							3			1	6	0.4	0.6
○伝染性紅斑	3		2	1	1	1							1		2		10	1.1	15.0
○突発性発しん	1			1	1	1				1		1	1		1		7	0.8	0.7
○ヘルパンギーナ				1												1	2	2.0	0.8
○流行性耳下腺炎																	0		
△急性出血性結膜炎																	0		
△流行性角結膜炎				1	2												3		1.1
◇細菌性髄膜炎																	0		
◇無菌性髄膜炎																	0		
◇マイコプラズマ肺炎			2				12			5							19	1.0	
◇クラミジア肺炎																	0		
◇感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																	0		
計	129	51	113	231	114	131	131	50	49	194	120	215	213	175	172	75	2163		
★インフルエンザ/COVID-19定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
○小児科定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
△眼科定点数	1		1	1	1		1	1	1			1		1	1	1	11		
◇基幹定点数			1				1			1							3		

※過去3年の同週の平均値との比
 ※新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は昨年と同週との比

★○△◇は定点種別を示す。のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

定点当たり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況(名古屋市)

2024年第50週(2024年12月9日～12月15日)

疾病名/区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均
インフルエンザ	14.40	9.50	17.60	25.00	14.80	20.75	16.60	7.20	10.00	38.50	19.00	32.75	32.80	19.75	33.25	10.25	19.77
★新型コロナウイルス感染症(COVID-19)																	4.94
RSウイルス感染症	0.20			1.25		0.25				0.25		1.00		0.25			0.19
咽頭結膜熱	0.20		0.20	1.50		0.50						0.25			2.25		0.29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.60		0.20	3.50		1.75	0.20			1.50	0.50	1.25	0.80	1.00	1.50	0.25	0.84
感染性胃腸炎	5.20	0.75	1.60	19.75	1.80	5.00	2.80		0.25	3.25	3.25	2.00	4.40	10.50	3.25	1.50	3.96
水痘	0.40			0.50						0.25	0.25			0.60	0.25	1.75	0.24
手足口病				0.25		0.25								0.60		0.25	0.09
伝染性紅斑	0.60		0.40	0.25		0.25								0.20	0.50		0.14
突発性発しん	0.20			0.25		0.25				0.25		0.25	0.20		0.25		0.10
ヘルパンギーナ				0.25												0.25	0.03
流行性耳下腺炎																	
急性出血性結膜炎																	
流行性角結膜炎				1.00	2.00												0.27

警報対象疾病	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
突発性発しん	-	-	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

流行警報・注意報について

- **太字の数字** は流行発生警報
- **斜体の数字** は流行発生注意報
- 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値(左表)に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。
- この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。

* 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の区別定点当たり患者報告数は計上しておりません。

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

年齢階級別患者報告数(名古屋市)

2024年第50週(2024年12月9日~12月15日)

疾病名/年齢階級	0~5 カ月	6~11 カ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10~ 14	15~ 19	20~ 29	30~ 39	40~ 49	50~ 59	60~ 69	70~ 79	80歳 以上	計
インフルエンザ	5	5	29	40	36	49	46	60	51	43	46	177	122	124	114	156	128	73	40	40	1384
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	6	6	4	1		3		4	2	4	3	13	9	39	23	35	48	37	35	74	346

疾病名/年齢階級	0~5 カ月	6~11 カ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10~ 14	15~ 19	20歳 以上	計
RSウイルス感染症	1	3	4		2		1	1						1	13
咽頭結膜熱			3	5	3	3	1		1		1		2	1	20
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	1	1	4	6	6	5	7	7	7	4	5	5		59
感染性胃腸炎	3	17	29	30	23	24	24	20	4	16	11	19	5	52	277
水痘					1		2	3			1	3	2	5	17
手足口病			3	1					1		1				6
伝染性紅斑					3	1	1	1	3		1				10
突発性発しん		1	6												7
ヘルパンギーナ					1	1									2
流行性耳下腺炎															0

疾病名/年齢階級	0~5 カ月	6~11 カ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10~ 14	15~ 19	20~ 29	30~ 39	40~ 49	50~ 59	60~ 69	70歳 以上	計
急性出血性結膜炎																				0
流行性角結膜炎															1	1			1	3

疾病名/年齢階級	0歳	1~4	5~9	10~ 14	15~ 19	20~ 24	25~ 29	30~ 34	35~ 39	40~ 44	45~ 49	50~ 54	55~ 59	60~ 64	65~ 69	70歳 以上	計
細菌性髄膜炎																	0
無菌性髄膜炎																	0
マイコプラズマ肺炎		2	10	1		1			1	1	2				1		19
クラミジア肺炎																	0
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																	0

患者報告数および定点当たり患者報告数の推移(名古屋市)

疾病名/調査週		第41週	第42週	第43週	第44週	第45週	第46週	第47週	第48週	第49週	第50週
		(10/7~ 10/13)	(10/14~ 10/20)	(10/21~ 10/27)	(10/28~ 11/3)	(11/4~ 11/10)	(11/11~ 11/17)	(11/18~ 11/24)	(11/25~ 12/1)	(12/2~ 12/8)	(12/9~ 12/15)
インフルエンザ	患者報告数	67	41	49	49	74	89	145	333	590	1384
	定点当たり患者報告数	0.96	0.59	0.70	0.70	1.06	1.27	2.07	4.76	8.43	19.77
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	患者報告数	185	136	139	106	135	153	144	151	220	346
	定点当たり患者報告数	2.64	1.94	1.99	1.51	1.93	2.19	2.06	2.16	3.14	4.94
RSウイルス感染症	患者報告数	13	10	5	4	5	11	5	5	6	13
	定点当たり患者報告数	0.19	0.14	0.07	0.06	0.07	0.16	0.07	0.07	0.09	0.19
咽頭結膜熱	患者報告数	8	7	10	5	7	9	10	10	20	20
	定点当たり患者報告数	0.11	0.10	0.14	0.07	0.10	0.13	0.14	0.14	0.29	0.29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	患者報告数	96	54	55	56	55	57	62	64	77	59
	定点当たり患者報告数	1.37	0.77	0.79	0.80	0.79	0.81	0.89	0.91	1.10	0.84
感染性胃腸炎	患者報告数	104	82	116	123	97	146	186	224	279	277
	定点当たり患者報告数	1.49	1.17	1.66	1.76	1.39	2.09	2.66	3.20	3.99	3.96
水痘	患者報告数	6	5	4	3	10	4	5	9	7	17
	定点当たり患者報告数	0.09	0.07	0.06	0.04	0.14	0.06	0.07	0.13	0.10	0.24
手足口病	患者報告数	328	262	151	152	84	51	34	26	15	6
	定点当たり患者報告数	4.69	3.74	2.16	2.17	1.20	0.73	0.49	0.37	0.21	0.09
伝染性紅斑	患者報告数	1	5	0	1	5	6	8	7	9	10
	定点当たり患者報告数	0.01	0.07	0	0.01	0.07	0.09	0.11	0.10	0.13	0.14
ヘルパンギーナ	患者報告数	5	3	3	3	2	2	0	1	1	2
	定点当たり患者報告数	0.07	0.04	0.04	0.04	0.03	0.03	0	0.01	0.01	0.03
流行性耳下腺炎	患者報告数	2	3	1	2	1	0	1	0	2	0
	定点当たり患者報告数	0.03	0.04	0.01	0.03	0.01	0	0.01	0	0.03	0
急性出血性結膜炎	患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定点当たり患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	患者報告数	2	5	8	4	2	5	5	0	0	3
	定点当たり患者報告数	0.18	0.45	0.73	0.36	0.18	0.45	0.45	0	0	0.27
細菌性髄膜炎	患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定点当たり患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定点当たり患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	患者報告数	20	15	22	20	16	17	35	17	20	19
	定点当たり患者報告数	6.67	5.00	7.33	6.67	5.33	5.67	11.67	5.67	6.67	6.33
クラミジア肺炎	患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定点当たり患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定点当たり患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(患者報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

◆入院サーベイランス

基幹定点医療機関（市内 3 医療機関：北区、昭和区、中川区）より、インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による入院患者の発生状況が毎週報告されています。

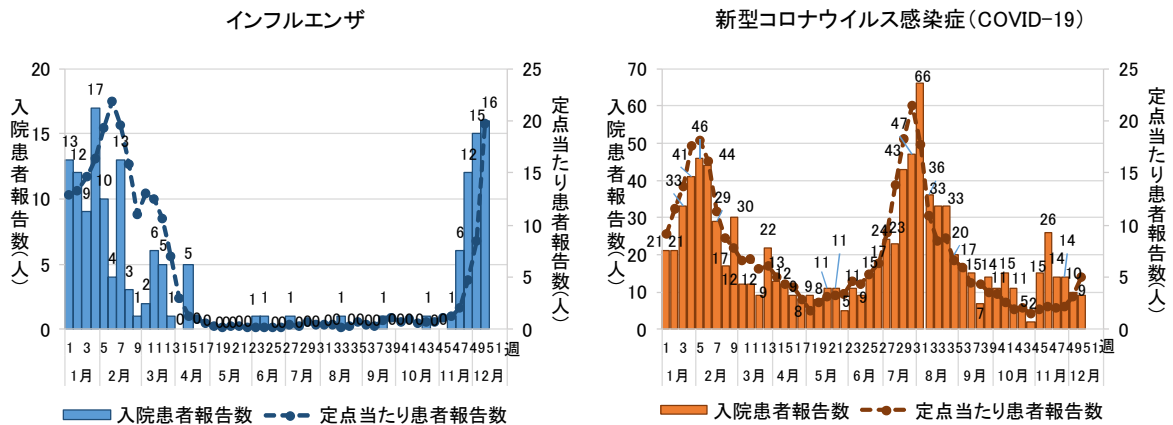
年齢階級別入院患者報告数(2024年第50週(12月9日～12月15日))

疾病名/年齢階級	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	計
インフルエンザ	0	2	3	0	0	0	0	1	2	2	1	5	16
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7	9

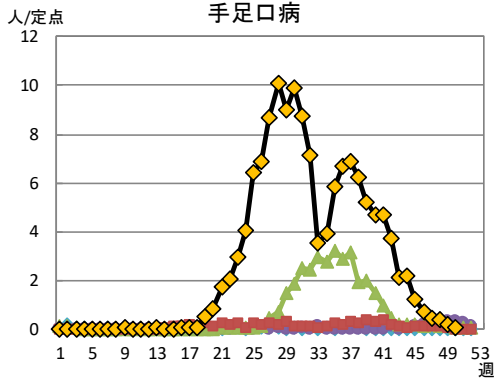
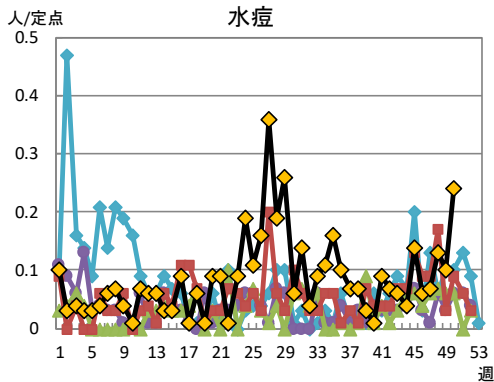
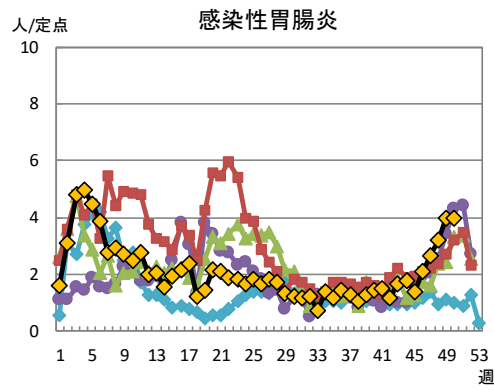
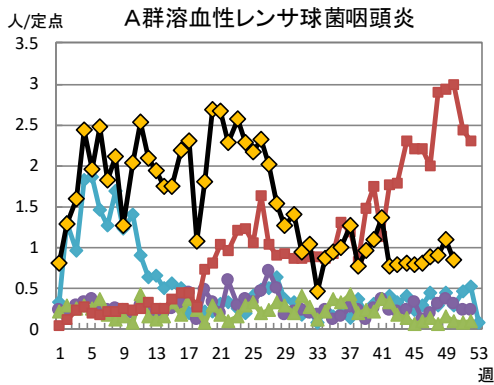
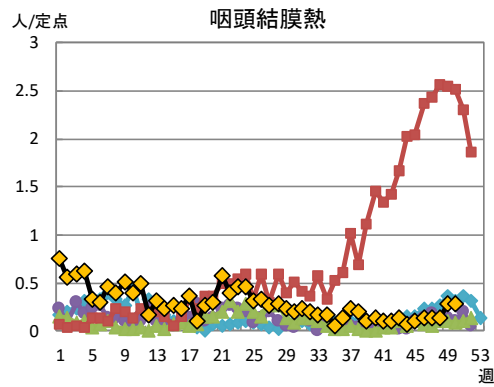
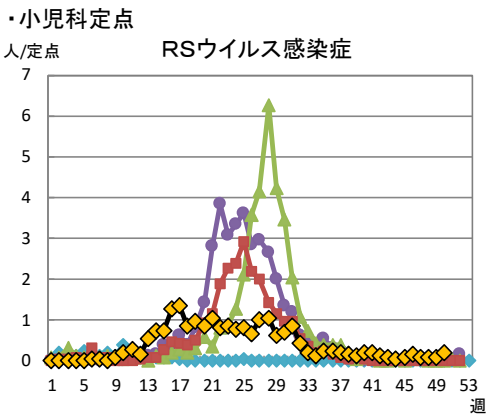
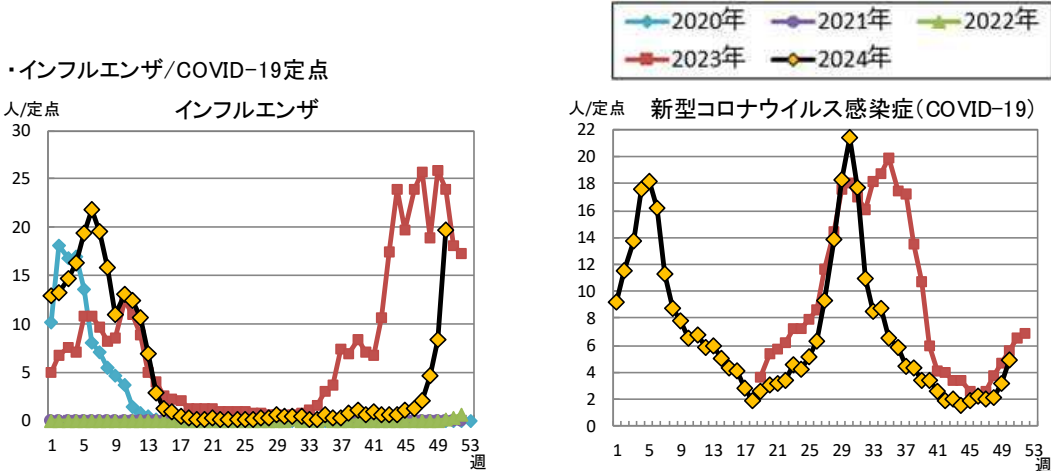
年齢階級別入院患者報告数(2024年累積)

疾病名/年齢階級	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	計
インフルエンザ	9	22	21	6	2	2	9	6	4	15	22	39	157
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	32	17	9	5	0	11	15	25	49	82	244	496	985

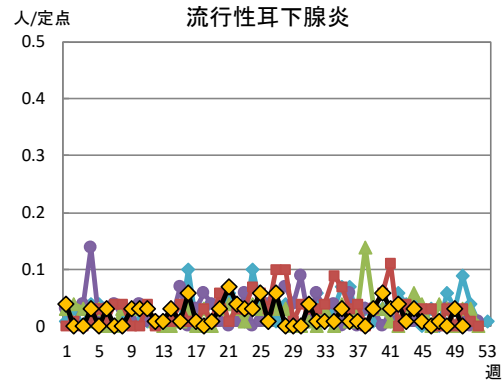
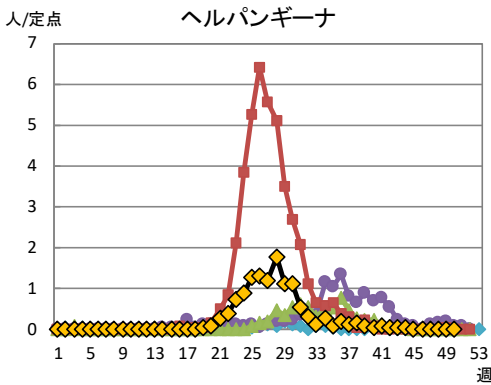
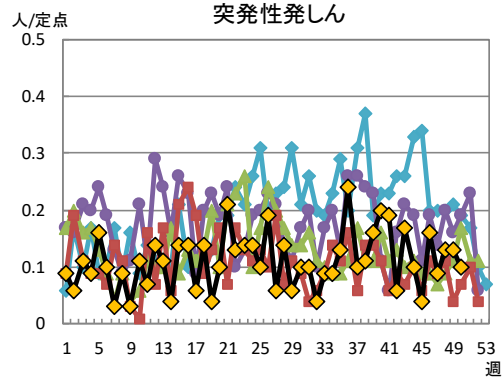
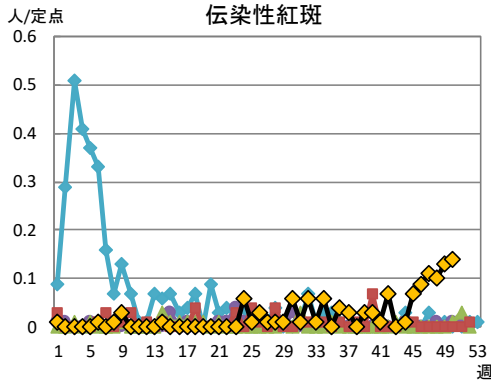
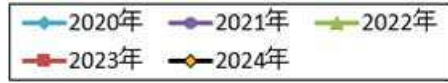
入院患者報告数および定点当たり患者報告数の推移(2024年)



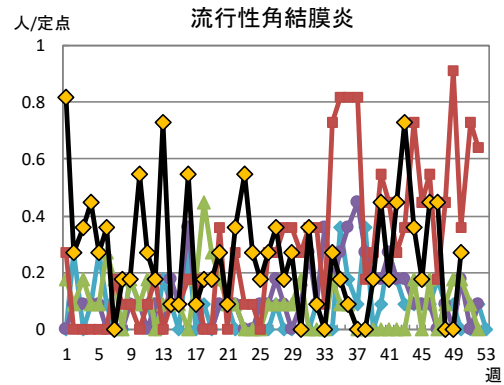
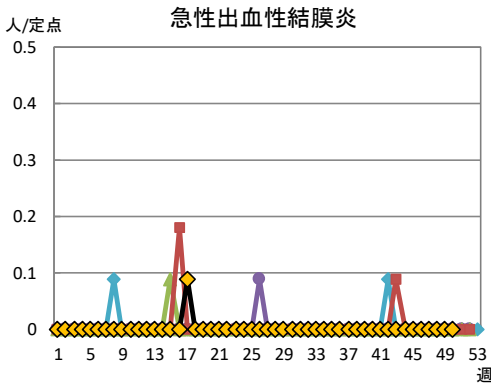
◆インフルエンザ/COVID-19定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点医療機関からの
 定点当たり患者報告数の推移グラフ(1) 2024年第50週まで



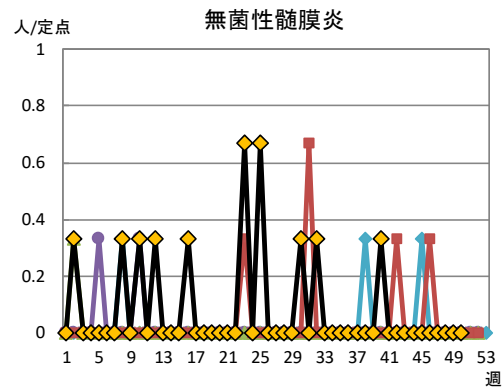
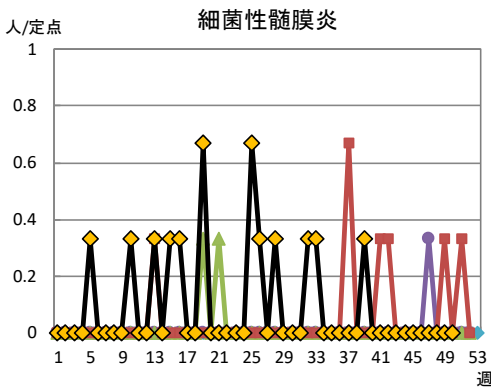
◆インフルエンザ/COVID-19定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点医療機関からの
 定点当たり患者報告数の推移グラフ(2) 2024年第50週まで



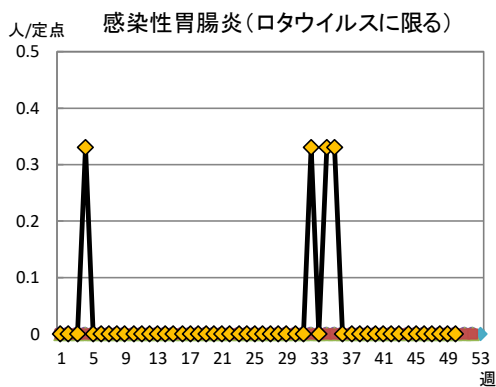
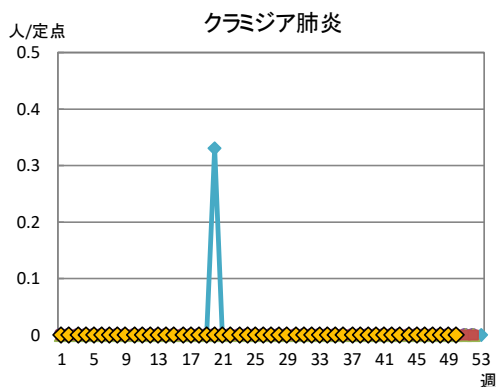
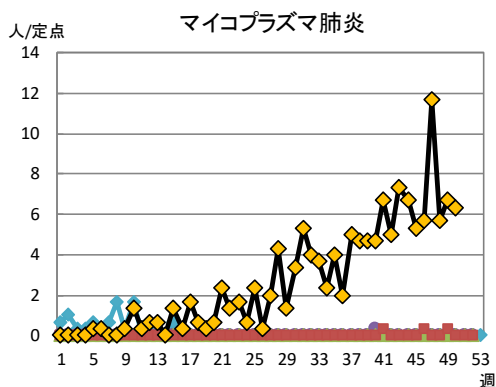
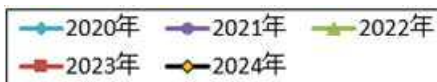
・眼科定点



・基幹定点



◆インフルエンザ/COVID-19定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点医療機関からの
 定点当たり患者報告数の推移グラフ(3) 2024年第50週まで



NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

◆ 基幹病院定点月報の集計結果〔2024年11月分〕

基幹定点数：3（北区、昭和区、中川区）

表1. 基幹定点報告、区別患者報告数(名古屋市)

2024年11月

疾病名/区	北	昭和	中川	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		5	2	7
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			1	1
薬剤耐性緑膿菌感染症				0
計	0	5	3	8

表2. 基幹定点報告、年齢階級別患者報告数(名古屋市)

2024年11月

疾病名/年齢階級	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90歳以上	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症				1	2				2	2	7
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							1				1
薬剤耐性緑膿菌感染症											0
計	0	0	0	1	2	0	1	0	2	2	8

◆ 性感染症について〔性感染症定点把握、2024年11月分〕

性感染症定点数：15（泌尿器科系：8、産婦人科系：7）

患者報告数を性別でみると男性では性器クラミジア感染症、淋菌感染症、性器ヘルペスウイルス感染症及び尖圭コンジローマの順に多く、女性では性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症の順に多く報告がありました。今月の性感染症の報告数は男性206人、女性は68人でした。（表2、図1参照）

2024年11月分を年齢階級別に見ると男性では性器クラミジア感染症及び淋菌感染症が15歳以上の全ての年齢階級で報告があり、性器ヘルペスウイルス感染症では15歳から19歳、25歳から39歳及び45歳以上の年齢階級で報告がありました。また、尖圭コンジローマでは20歳以上の全ての年齢階級で報告がありました。女性では性器クラミジア感染症が15歳から34歳及び45歳から49歳の年齢階級で報告があり、性器ヘルペスウイルス感染症では15歳以上の全ての年齢階級で報告がありました。また、尖圭コンジローマでは20歳から49歳の年齢階級で報告があり、淋菌感染症では15歳から24歳及び30歳から34歳の年齢階級で報告がありました。（表2、図2参照）

表1. 性感染症区別患者報告数(名古屋市)

2024年11月

疾病名/区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
性器クラミジア感染症	9		27	1	2	35	11	1		7	3	1		15		1	113
性器ヘルペスウイルス感染症			6			29	5			6	3	1					3
尖圭コンジローマ	3		5		1	28	3			5	1			1			47
淋菌感染症	5		8		1	25	7			5	2			7		1	61
計	17		46	1	4	117	26	1		23	9	2		23		5	274

STD定点数	1		2	1	1	2	1	1		1	1	1		1	1	1	15
--------	---	--	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	--	---	---	---	----

のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

表2. 性感染症年齢階級別患者報告数(名古屋市)

2024年11月

疾病名/年齢階級	性別	0~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55歳以上	計
性器クラミジア感染症	男性		6	20	29	10	4	5	4	6	4	88
	女性		6	7	9	2			1			25
性器ヘルペスウイルス感染症	男性		1		6	7	7		4	3	4	32
	女性		2	3	4	1	1	3	2	2	3	21
尖圭コンジローマ	男性			2	6	4	8	4	3	1	4	32
	女性				5	2	3	1	1	3		15
淋菌感染症	男性		4	17	13	2	6	3	3	4	2	54
	女性		3	3		1						7
計	男性		11	39	54	23	25	12	14	14	14	206
	女性		11	18	15	7	2	4	6	2	3	68

図1. STD各感染症が総患者報告数に占める割合(2024年11月)

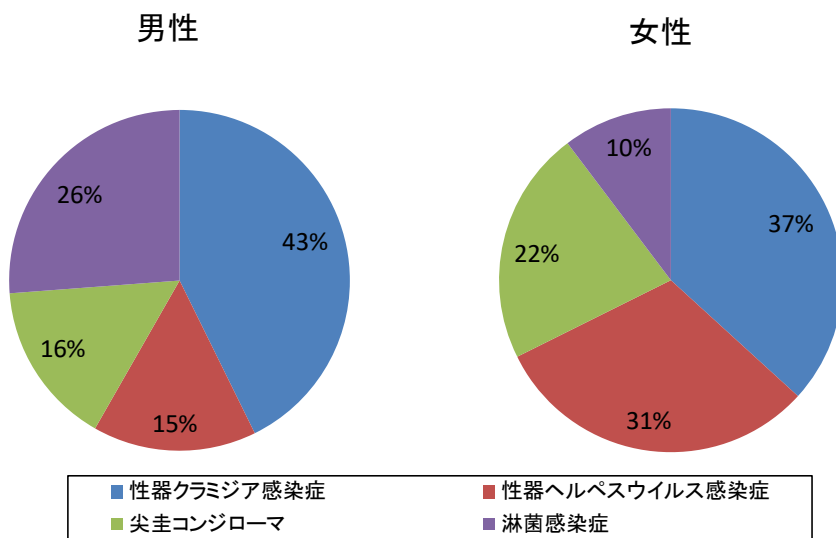


図2. 各STDの性別・年齢階級別の定点あたり患者報告数(2024年11月)

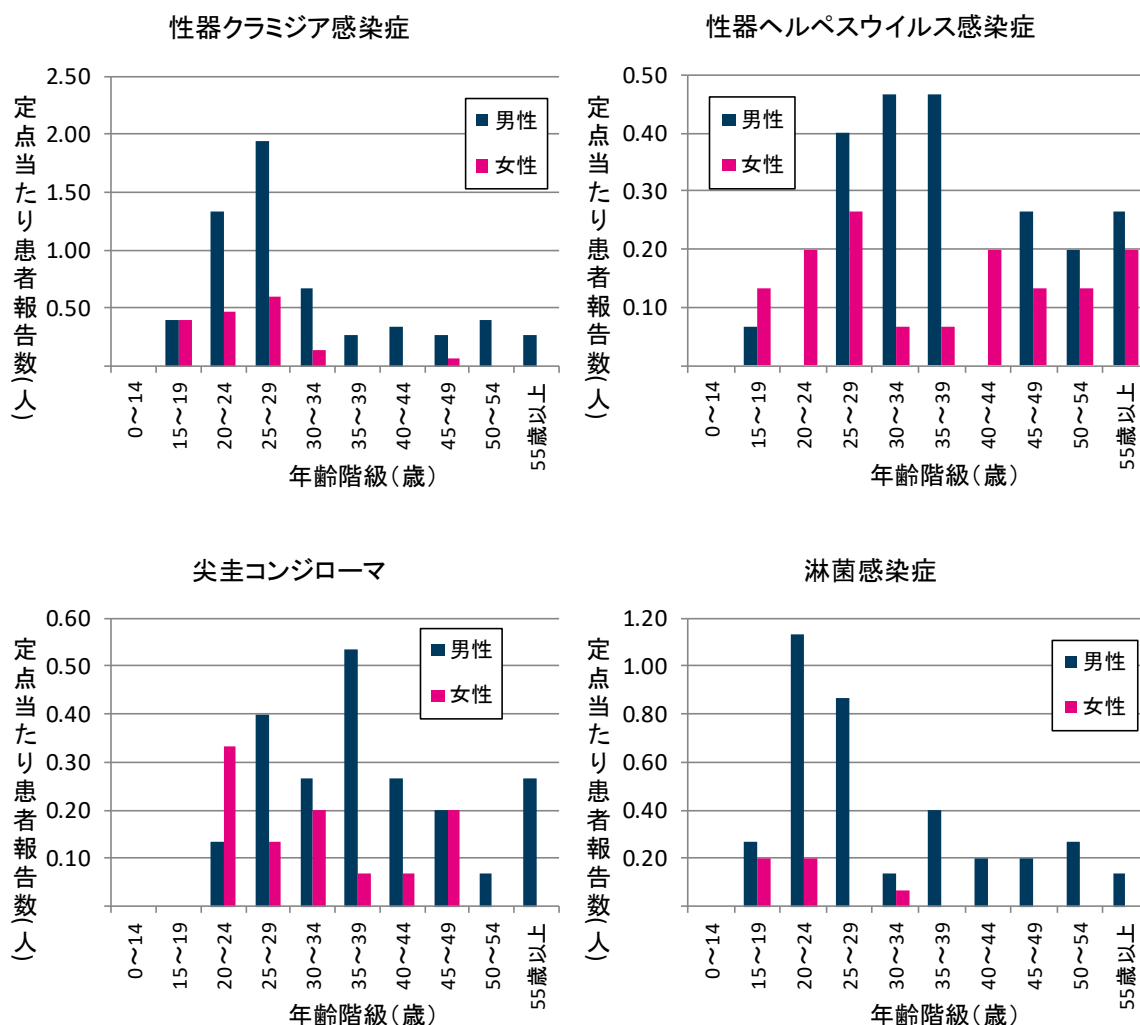


図3. 各STDの定点当たり患者報告数の推移

